

統合医療学講座に関する報道についての見解

2025年6月2日に一部報道機関により、本学大学院履修証明プログラム「統合医療学講座」に関し批判的な報道がなされました。当講座の趣旨・教育内容について誤解や懸念が生じている可能性があるため、本見解にて改めて当講座の理念と取り組みをご説明申し上げます。

講座の理念・教育方針

本講座は、神奈川歯科大学大学院に附置された「統合医療教育センター」が実施している正規の履修証明プログラム(学校教育法第105条に準拠)であり、医師、歯科医師、看護師、薬剤師などの医療専門職を主な対象としつつ、補完代替医療の従事者も受講生として想定した、高度で実践的な学修機会を提供しております。

本講座の主旨は、「統合医療(Integrative Medicine)」の理念に基づき、各種の伝統医療・補完代替療法について学術的見地から検証し、それらを臨床実践において適切に応用するための批判的かつ実証的な知識の修得を目指しております。

つまり、近代西洋医学に基づく標準治療を基本としつつ、患者本位の全人的医療としての個別化医療を実践する際に、ベストプラクティスの選択肢として、伝統医療や補完代替医療も考慮するために必要な学修の場を提供します。統合医療に関する国内外の専門機関やアカデミアによる定義に照らしても、本講座の活動は世界的な統合医療の潮流に沿ったものであり、学術的な正当性を有しています。

講座の教育・研究内容

講義には、各種の伝統医学(漢方医学、鍼灸学、アーユルヴェーダ、中医学等)に加え、食事療法、サプリメント・機能性食品といった生物学的介入や徒手療法(カイロプラクティック、オステオパシー等)に関する講義などが含まれています。いずれも科学的根拠、安全性、限界を含めて、俯瞰的に概説する講義内容であり、いわゆる「非科学的療法の推奨」とは趣旨を異にしています。

報道では一部科目での療法の存在をもって講座全体が非科学的であるかのような印象が与えられておりますが、本講座ではそれらの療法についても学術的・批判的に検討する対象として扱っており、決して無批判な推奨を行っているわけではありません。

また統合医療は西洋医学も統合した医療であり、西洋医学を否定するようなことは断じてございません。

外部講師には、講座の趣旨やカリキュラムの到達目標を十分にご理解いただいた上で、講義を依頼しています。

また、受講生の皆様には、講座の趣旨や意図を十分に理解したうえで受講いただき、修了後には神奈川歯科大学より履修証明書が発行されるプログラムとなっております。

なお、今回の報道に際しては事前の照会や意見照会等が本講座側に一切なされず、内容の一部においては誤解や不正確な表現が含まれていることは、誠に遺憾に存じます。

今後も本講座は、大学教育機関としての責任のもと、誠実かつ科学的に健全な統合医療教育を提供し続けてまいります。

2025年6月
神奈川歯科大学統合医療学講座
特任教授 川嶋朗